

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6年 2月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473200388		
法人名	医療法人社団たくみ会きむらクリニック		
事業所名	安芸ひまわり		
所在地	広島県安芸郡海田町日の出町2-9 (電話) 082-821-2525		
自己評価作成日	令和6年1月12日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3473200388-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年1月31日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

クリニックが経営しているので、医療、薬剂的にバックアップ体制が整っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営姿勢「快適な環境で快適な人間関係」「制約のない生きがいのある生活」「一人の人間として尊重される生活」の視点で、一人ひとりの思いや意向を利用者担当者制にする事で利用者や家族との関わりやコミュニケーションがとりやすく、理事長やミーティングなどを通じて利用者の心を癒す取り組みをしている。医療との連携体制を図り、状況の変化に気づきやすく最期をその人らしく穏やかに迎える事ができるよう寄り添う支援をしている。面会制限や外出自粛で地域との交流が少なくなっている現状ではあるが、事業所が地域一員として住民との集いや憩いの場となればの考え方で「子ども食堂」の設置を検討している。職員個々の意見や気づきをリーダーや管理者を通じて話しやすく、働きやすい環境づくりを実践している。
--

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の方々との交流を通して、地域の一員として暮らしていけるように、支えていくことを、ミーティングや掲示により確認をして、実践している。	地域密着型事業所として地域の一員である事を認識し、運営姿勢をもとに日々のケアの中やミーティングで意識統一を図っている。新型コロナウイルス感染症予防対策で面会や外出が困難な中で、室内で出来る楽しみやできる事を提案し、全職員で取り組み、実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	当事業所の敷地を登校の小学生に提供して小学生や保護者との交流や中学生による職場体験を受け入れている。	中学生の職場体験の受け入れ、事業所敷地内を小学校児童の登校集合場所に提供し、時には利用者が安全の為の誘導をするなどしている。近隣にある海田町福祉センター祭りやイベント行事に参加し、地域住民との交流を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で出席者である入居者のご家族、地域住民、民生委員に認知症のことを説明し、理解をしてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナ禍により会議を開いておらず、書面での報告をしており、事業所の状況を理解してもらっている。その報告の問い合わせがある。これから会議を開く予定である。	コロナ禍では、利用者の状況や行事報告など書面上の開催をしている。今後は家族、海田町介護保険課、地域包括支援センター、民生委員 地域代表他多くの出席者が得られるよう声掛けを行い、課題や提案の方法を工夫し、活発な意見交換が得られ意見が運営に活かせるよう検討している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	施設長や管理者が町に報告をしたり、町から問い合わせがあったり、連絡を取ったりしている。	運営推進会議参加や議事録の送付を通じて情報共有している。電話でのやりとりや直接出向いての相談などしている。町主催の研修や社会福祉協議会主催のオンライン研修に参加するなど信頼関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束適正化委員会を2～3か月ごとに開いて、身体拘束のことを研修の機会を通して、理解している。</p>	<p>身体拘束適正化委員会はユニットごとに開催している。年間2回実施する研修会などで、様々なテーマや事例について対応策を協議することで理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待のことをミーティングで理解して把握したり、研修の機会を設けている。オンラインでの研修機会はいつでも出来るようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関することはオンラインで研修の機会を設けている。必要があれば、ミーティングで確認している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の凍結は、重要事項説明書で説明をして、ご家族が理解し、納得してサインをしてもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設けて、対応している。ミーティングで検討して対応する場合もある。</p>	<p>請求書の郵送時に利用者の近況報告を行い、電話で家族の意見を聴取している。利用者の職員担当者が、本人・家族の意向をリーダー・管理者とミーティングで共有して運営に活かすよう努めている。自宅でおやつをよく食べていたので、事業所でも同様に過ごしたいという意見などに対応した例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	理事長は事業所に週一回訪問をして、現場の意見を聞いて対応している。管理者は随時話し合いの機会を設けたり、ミーティングで意見交換をしている。	申し送り時や週1回の理事長の来訪、管理者には何時でも話ができて、ミーティングを通じて意見交換をしている。備品の購入の提案や有休、希望休などシフトの変更希望にも柔軟に対応し、働きやすく風通しの良い職場作りをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員の実績、勤務状況をみて、業務の担当者、リーダー、管理者になり責任を持たせ、給与に反映している。あわせて、職場が働きやすい環境づくりに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	機会をみて外部やオンラインの研修会に参加させたり、講師を事業所に招いて研修会を開いたり、委員会での研修を取り入れている。いつでもオンライン研修は出来るようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の居宅介護支援事業所や特別養護老人ホーム、日本認知症グループホーム協会との交流があり、情報交換をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人から意見を聞いたり、問い合わせしたりして、理解をし、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族から状況、要望などを聞いたり、問い合わせしたりして、理解をし、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人とご家族から状況、要望を聞いたり、問い合わせをしたりして、現在必要としているサービスを検討し、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は本人と一方的な関係にならないように、お互いが理解して、支えていき、信頼関係を築いていけるように努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員とご家族がお互いに相談し合える関係を築いていながら、共に支えていくように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。</p>	<p>機会をみて、馴染みの方々に連絡して、面会に来てもらったり、馴染みのお店に行ったり、親戚関係などに来てもらったりしている。</p>	<p>電話や感染症予防対策を取り面会を少しずつ増やしている。孫や知人の面会、カラオケ仲間の来訪、馴染みの美容室、洋品店に外出したり、郵便局へ手紙の投函など馴染みの人や場との関係継続支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	様々な趣味や習い事、行事を通して交流し、利用者同士の関係を築いて支え合っているように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて、本人やご家族とは連絡を取り合ったり、相談したり、面会をしたりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向にできるだけ沿うように心がけて対応している。ご家族や入所する前に係っている介護支援専門員にも相談しながら協力してもらっている。	利用者の職員担当者が日頃のケアの中で会話や関わる中で思いの把握をしている。時には利用開始前の介護支援専門委員から利用者の思いを知る事もあり、思いに寄り添える支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今まで暮してきた環境、利用したサービスを考慮しながら、本人にあった環境づくりを整えるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人の状況をみながら、本人の出来るところ、支えていくところを判断しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人とご家族の意見を取り入れ、担当者、リーダー、管理者と相談し、ミーティングで検討し、現状を踏まえて介護計画に反映している。時には、主治医、薬剤師にも相談している。</p>	<p>3ヶ月毎にモニタリング、半年ごとに見直しをするなど現状に即した介護計画を作成している。骨折後退院し歩きたい要望があり、担当者、リーダー、管理者などで話し合い、医師や看護師等多職種の協議のもとで歩行訓練等のリハビリを介護計画に揚げ、利用者、家族の意向に沿って作成した例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子を些細な事でも気づいたことは本人の記録に記入しており、職員間で共有して介護計画に反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>今まで暮してきた本人やご家族の環境、現在の状況を踏まえて、ミーティングで検討して、さまざまなサービスを選択して支援をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の意向に応じて、地域やお店の方、民生委員、ボランティアの協力を得ながら支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人やご家族等の要望を取り入れ、かかりつけ医、主治医との信頼関係を築きながら、治療を受けている。必要があれば、他の医療機関の治療を受けていただくこともある。近くの歯科医院にも協力してもらっている。</p>	<p>利用開始時、利用者、家族にかかりつけ医の希望を聞いている。2週間に1回の協力医療機関受診の際は同行支援をしている。従来の医療機関との信頼関係から希望があれば受診も可能である。協力歯科には随時受診や口腔ケアもしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はいつでも職場内の看護師、クリニックの看護師との相談ができ、必要があれば、いつでも受診が出来るようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域の医療機関には主治医を通して、いつでも相談しあえる体制があり、情報交換を出来るようにしている。地域の医師会にも協力してもらっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人やご家族等の意向に沿うように、主治医、薬剤師と相談しながら、職員同士で情報を共有して重度化や終末期の支援に取り組んでいる。過去に何度か看取りに対応している。	終末期、看取りに関しては身体状況の変化を看ながら家族には早い段階から医師や看護師と相談を行っている。看取り経験もあり、こまめに情報共有を行い、チームで利用者、家族に寄り添う支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティングで各利用者の情報を共有しながら、緊急時の対応マニュアルを作成して取り組んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災や浸水の避難訓練を実施し、消防職員に指導をしてもらっている。運営推進会議のメンバーに問い掛けをして協力をお願いしている。地域の方々にも避難訓練に参加してもらっている。	消防署の指導のもと、火災訓練や浸水想定垂直避難訓練を実施している。又、町主催の防災訓練に参加するとともに、BCP（事業継続計画）講習会を受講し、災害時の対応方法等の理解を深めている。地域代表者からの要望により、災害時の地域住民の避難場所として協力する事としている。飲料水や食料など、3日分を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	今まで暮してきた環境、現在の状況を考慮して、一人ひとりの意向に沿うような対応に心掛け、失礼のない目上の方に対する丁寧な言葉で声掛けをして、プライバシーの確保に努めている。	ミーティングなどで認識、理解し、日頃から不適切ケアには注意指導を行い、一人ひとりの人格を尊重し、人生の先輩として分かりやすい丁寧な声掛けや言葉かけに努めている。個人情報も鍵付きの収納庫に保管し、プライバシー確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように、声掛けや誘導を促したり、今の状況を把握して自己決定ができるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの日々の状況を把握して、気づきに注意して、本人の希望やペースに合うように、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	職員ができることは対応している。美容院の方が訪問して散髪をしてもらい、身だしなみの相談も受けてもらっている。時には、馴染みの美容室に行ってもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご家族に好みなどを相談しながら、出来る限り一人ひとりの好みに合うように工夫して調理をしている。職員と一緒に準備や片付けをしている利用者の方々もいる。	昼食は弁当で朝、夕食は食事が偏らないよう献立に工夫し事業所の厨房で調理している。おせち料理、ちらし寿司、鰻弁当、敬老弁当など季節ごとの行事食を提供している。誕生日は誕生日ケーキや好きな物でお祝いをしている。おやつにホットケーキ、たこ焼きや屋上でバーベキューなど食を楽しむ支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一食を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの食べられた量、飲まれた水分量を記録しており、それらの状況を把握して対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとりの歯磨きを支援している。定期的に歯科医等に訪問してもらい、口腔ケアを指導してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の健康状態や排泄記録をみて，定期的に声掛けをしトイレ誘導をして，失敗やおむつの使用を減らすように対応している。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し，声掛けやトイレ誘導を行い，ポータブルトイレは夜間帯でも使用せず，トイレ誘導や適切な衛生用品を使用し，トイレで座位での排泄支援を実践している。朝食にヨーグルトや水分摂取，体操などを行い，便秘予防に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況をみながら，食事の改善や運動などを取り入れている。場合によっては，主治医や看護師，薬剤師にも相談しながら対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一応の入浴日を決めているが，一人ひとりの状況，体調をみて，要望があればいつでも入浴，シャワーをしてもらっている。排泄の失敗時には，随時，シャワー対応をしている。</p>	<p>週2～3回午後浴を基本としているが，体調変化にも考慮し柔軟に対応している。個浴で浴室には手すりやシャワーチェア等，滑らないよう配慮し，職員の介助でゆっくりと入浴ができる支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一応の休息や昼寝などの時間を設けているが、一人ひとりの状況をみながら、いつでも休んでもらえるように対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりの薬についての資料が薬局から届いており、それらを理解して、服薬をしている。何かあればいつでも薬剤師に相談できるようにしている。週一回、薬剤師に訪問してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	今まで暮してきた環境を考慮して、役割を担当してもらったり、習い事や趣味を楽しんでもらったり、時には外出をして散歩や買い物をしてもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの意向に沿って、散歩や買い物をしたりしている。場合によっては、ご家族やボランティアなどに協力してもらいながら対応している。コロナ禍により外出機会が少なくなっていたが、開けたこともあり増やそうとしている。	散歩や近所のスーパーに買い物、受診の時、車での行き帰りに風景を楽しんでいる。少しずつではあるがボランティアや家族の協力を得ながら外出や外食ができる支援を検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的には本人のお金の管理はしていないが、本人の要望があれば、ご家族に相談し可能であれば、職員と一緒に買い物をして対応している。		

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があれば、ご家族等に相談して、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りができるように対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには季節や行事ごとに模様替えをしたり、入居者の作った作品を飾ったり、写真を貼ったり、切り花や緑を取り入れたりして、過ごしやすい環境を作れるように心がけている。</p>	<p>空調管理や感染症予防対策の換気や加湿器など行い、心地よく寛げるよう行事担当者による季節の飾り付けをしている。掃除は利用者と共に、ラジオ体操、食事の下ごしらえ、後片づけ、はさみを使用して雑巾切り、昼食後ソファで寛ぐ方など思い思いのスタイルで過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個室部屋、リビング、多目的ホール、応接室、屋上をいつでも自由に使って過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人やご家族の意向に沿って、馴染みの家具や備品、写真などを持ってきたり、どのような物でも置いたり、飾ったりして過ごしやすいようにしている。</p>	<p>居室は2方向に窓があり、明るく清潔感が保たれている。エアコン、洗面台、電動ベッドなど設置している。自宅で使い慣れたコップや陶器、仏壇や遺影、裁縫道具や看護師時代のナース服など持参され、居心地良く生活出来るよう工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>バリアフリーに対応しており、廊下やトイレには手すりがあり、車いすや歩行器、歩行練習をする平行棒、杖など自由に使えるようにしている。</p>		

V アウトカム項目(1) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の方々との交流を通して、地域の一員として暮していけるように、支えていくことを、ミーティングや掲示により確認をして、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	当事業所の敷地を登校の小学生に提供して小学生や保護者との交流や中学生による職場体験を受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で出席者である入居者のご家族、地域住民、民生委員に認知症のことを説明し、理解をしてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナ禍により会議を開いておらず、書面での報告をしており、事業所の状況を理解してもらおう。その報告の問い合わせがある。これから会議を開く予定である。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	施設長や管理者が町に報告をしたり、町から問い合わせがあったり、連絡を取ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束適正化の委員会を2～3か月ごとに関いて、身体拘束のことを研修の機会を通して、理解している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待のことをミーティングで理解して把握したり、研修の機会を設けている。オンラインでの研修機会はいつでも出来るようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関することはオンラインで研修の機会を設けている。必要があれば、ミーティングで確認している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の凍結は、重要事項説明書を説明をして、ご家族が理解をし、納得してサインをしてもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設けて、対応している。ミーティングで検討して対応する場合もある。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	理事長は事業所に週一回訪問をして、現場の意見を聞いて対応している。管理者は随時話し合いの機会を設けたり、ミーティングで意見交換している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員の実績、勤務業況をみて、業務の担当者、リーダー、管理者になり責任を持たせ、給与に反映している。あわせて、職場が働きやすい環境づくりに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	機会をみて外部やオンラインの研修会に参加させたり、講師を事業所に招いて研修会を開いたり、委員会での研修を取り入れている。いつでもオンライン研修は出来るようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の居宅介護支援事業所や特別養護老人ホーム、日本認知症グループホーム協会との交流がり、情報交換をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人から意見を聞いたり、問い合わせしたりして、理解をし、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族から状況、要望などを聞いたり、問い合わせしたりして、理解をし、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人とご家族から状況、要望を聞いたり、問い合わせをしたりして、現在必要としているサービスを検討し、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は本人と一方的な関係にならないように、お互いが理解して、支えていき、信頼関係を築いていけるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員とご家族がお互いに相談し合える関係を築いていながら、共に支えていくように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	機会をみて、馴染みの方々に連絡して、面会に来てもらったり、馴染みのお店に行ったり、親戚関係などに来てもらったりしている。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	様々な趣味や習い事、行事を通して交流し、利用者同士の関係を築いて支え合っているように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて、本人やご家族とは連絡を取り合ったり、相談したり、面会をしたりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向にできるだけ沿うように心がけて対応している。ご家族や入所する前に係っている介護支援専門員にも相談しながら協力してもらっている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今まで暮してきた環境、利用したサービスを考慮しながら、本人にあった環境づくりを整えるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人の状況をみながら、本人の出来るところ、支えていくところを判断しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人とご家族の意見を取入れ、担当者、リーダー、管理者と相談し、ミーティングで検討し、現状を踏まえて介護計画に反映している。時には、主治医、薬剤師にも相談している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子を些細な事でも気づいたことは本人の記録に記入しており、職員間で共有して介護計画に反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>今まで暮してきた本人やご家族の環境、現在の状況を踏まえて、ミーティングで検討して、さまざまなサービスを選択して支援をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の意向に応じて、地域やお店の方、民生委員、ボランティアの協力をえながら支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人やご家族等の要望を取入れ、かかりつけ医、主治医との信頼関係を築きながら、治療を受けている。必要があれば、他の医療機関の治療を受けていただくこともあります。近くの歯科医院にも協力してもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はいつでも職場内の看護師、クリニックの看護師との相談ができ、必要があれば、いつでも受診が出来るようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域の医療機関には主治医を通して、いつでも相談しあえる体制があり、情報交換を出来るようにしている。地域の医師会にも協力してもらっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人やご家族等の意向に沿うように、主治医、薬剤師と相談しながら、職員同士で情報を共有して重度化や終末期の支援に取り組んでいる。過去に何度か看取りに対応している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティングで各利用者の情報を共有しながら、緊急時の対応マニュアルを作成して取り組んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災や浸水の避難訓練を実施し、消防職員に指導をしてもらっている。運営推進会議のメンバーに問い掛けをして協力をお願いしている。地域の方々にも避難訓練に参加してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	今まで暮してきた環境、現在の状況を考慮して、一人ひとりの意向に沿うような対応に心掛け、失礼のない目上の方に対する丁寧な言葉で声掛けをして、プライバシーの確保に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように、声掛けや誘導を促したり、今の状況を把握して自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの日々の状況を把握して、気づきに注意して、本人の希望やペースに合うように、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	職員ができることは対応している。美容院の方が訪問して散髪をしてもらい、身だしなみの相談も受けてもらっている。時には、馴染みの美容室に行ってもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご家族に好みなどを相談しながら、出来る限り一人ひとりの好みに合うように工夫して調理をしている。職員と一緒に準備や片付けをしている利用者の方々もいます。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一食を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの食べられた量、飲まれた水分量を記録しており、それらの状況を把握して対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとりの歯磨きを支援している。定期的に歯科医等に訪問してもらい、口腔ケアを指導してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の健康状態や排泄記録をみて、定期的に声掛けをしトイレ誘導をして、排泄をしてもらい、失敗やおむつの使用を減らすように対応している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況をみながら、食事の改善や運動などの取入れをしている。場合によっては、主治医や看護師、薬剤師にも相談しながら対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一応の入浴日を決めているが、一人ひとりの状況、体調をみて、要望があればいつでも入浴、シャワーをしてもらっている。排泄の失敗時には、随時、シャワー対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	一応の休息や昼寝などの時間を 設けているが、一人ひとりの状 況をみながら、いつでも休ん でもらえるように対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。	一人ひとりの薬についての資料 が薬局から届いており、それら を理解して、服薬をしている。 何かあればいつでも薬剤師に 相談できるようにしている。週 一回、薬剤師に訪問してもら っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	今まで暮してきた環境を考慮し て、役割を担当してもらったり 、習い事や趣味を楽しんでもら ったり、時には外出をして散歩 や買い物をしてもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	一人ひとりの意向に沿って、散 歩や買い物をしたりしている。 場合によっては、ご家族やボラ ンティアなどに協力してもらい ながら対応している。新型コロナ 禍により外出機会が少なくなっ ていたが、開けたこともあり増 やそうとしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	基本的には本人のお金の管理は していないが、本人の要望があ れば、ご家族に相談し可能であ れば、職員と一緒に買い物をし て対応している。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望があれば、ご家族等に相談して、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りができるように対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには季節や行事ごとに模様替えをしたり、入居者の作った作品を飾ったり、写真を貼ったり、切り花や緑を取り入れたりして、過ごしやすい環境を作れるように心がけている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室部屋、リビング、多目的ホール、応接室、屋上をいつでも自由に使って過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人やご家族の意向に沿って、馴染みの家具や備品、写真などを持ってきたり、どのような物でも置いたり、飾ったりして過ごしやすいようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーに対応しており、廊下やトイレには手すりがあり、車いすや歩行器、歩行練習をする平行棒、杖など自由に使えるようにしている。		

V アウトカム項目(2) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 安芸ひまわり

作成日 令和6年3月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の出席者が変わらないので、同じような会議になる。	運営推進会議を活発にして、充実した会議にする。	出席者を変えたり、他の方を出席してもらいながら、議論しやすい内容にする。	一年間
2	13	災害対策の避難訓練をしているが、実際に出来るかどうか不安である。	各職員などが想定通りに避難誘導ができる。	地域の方々や消防署などの協力をしてもらい避難活動をする。	一年間
3	18	コロナ禍や職員の数により、外出支援が制限される。	外出機会をできるだけ多くする。	ご家族や地域の方々等に協力してもらうように働きかけをする。	一年間
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。